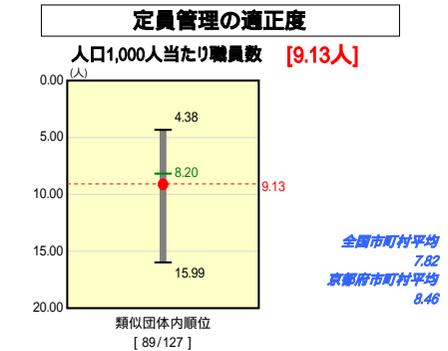
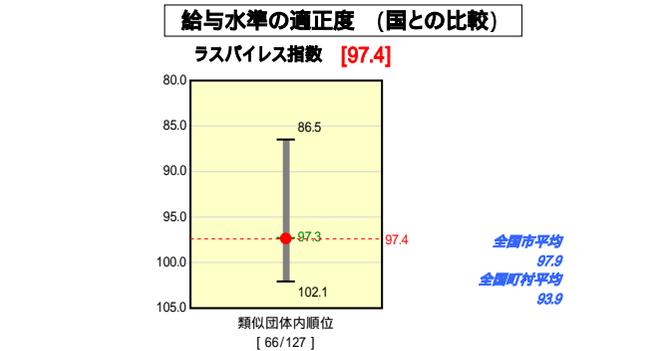
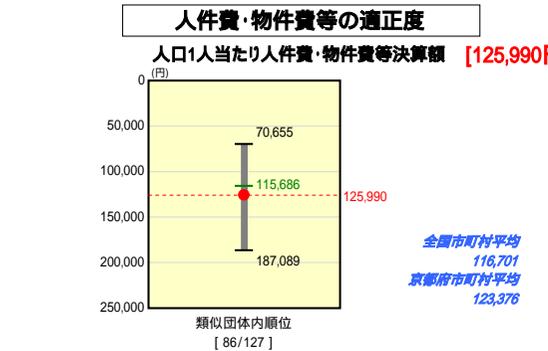
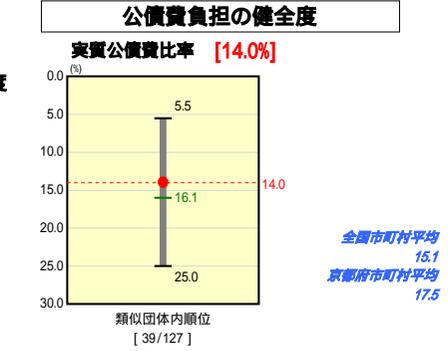
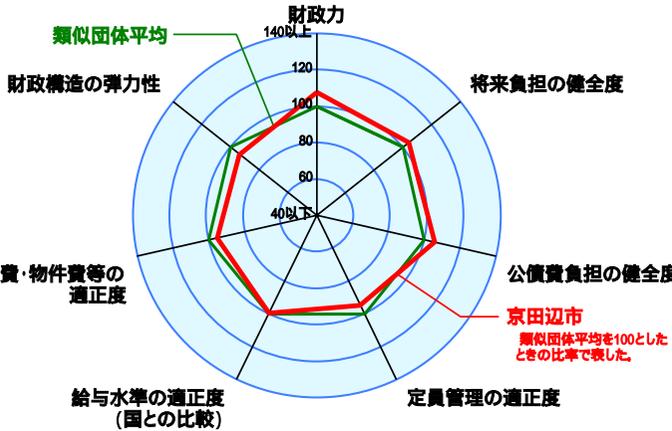
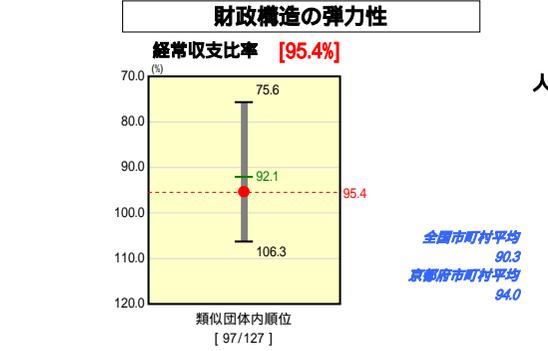
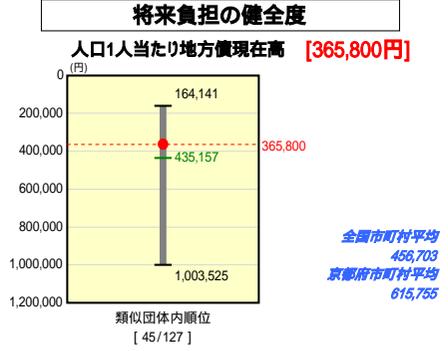
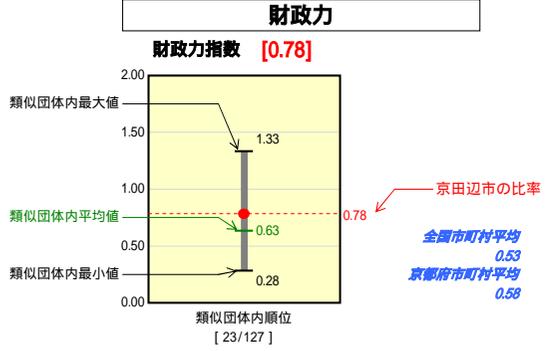


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

京都府 京田辺市

人口	60,671	人(H19.3.31現在)
面積	42.94	km ²
歳入総額	19,692,498	千円
歳出総額	19,356,782	千円
実質収支	173,147	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力(財政力指数)】
好調な企業業績により、市税(法人税割)が増加し、前年度から0.01ポイント増加している。
今後は、市税収納率の向上に努め、財政基盤の強化に努める。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】
児童手当や生活保護費等の扶助費が伸びていることから、類似団体平均を上回っている。
今後は、人件費の削減(H17からH22の5年間で1,474百万円削減)や補助金の見直し(H17からH22の5年間で177百万円削減)等により、経常経費の削減に努め、比率の改善を図る。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】
人口増に対応するため、近年実施した都市基盤整備や生活環境整備により、地方債残高が増加している。
今後は、普通建設事業の計画的な実施により、地方債の発行を抑制し、比率の改善を図る。

【将来負担の健全度(人口1人あたり地方債現在高)】
近年の投資的経費の増加により、過去5年で約22億円増加している。
今後は、普通建設事業の計画的な実施により、地方債の発行を抑制する。

【給与水準の適正度(ラスパイレス指数)】
職員構成の変動等により、昨年度から0.2ポイント低下し、類似団体平均とほぼ同じ水準となっている。
今後は、各種手当での見直しを進め、より適正な給与体系の構築に努める。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】
幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営で実施していることに加え、他町の消防業務を受託しており、類似団体平均を上回っている。
今後は組織再編や民間委託等を進め、職員数を削減する。(H17からH22の5年間で10%削減)

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】
類似団体平均を上回っているのは、幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営で実施しているためで、今後は組織再編や民間委託等を進め、人件費・物件費等を削減する。(物件費:H17からH22の5年間で754百万円削減)

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。